



SOTETSU
ROSEN

健康に配慮した食環境づくりに向け 横浜市と相鉄ローゼン株式会社が 連携協定を締結します

2023年6月21日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

スーパー等で販売される「**中食**（なかしょく）」
（**お弁当**や**総菜**等）の需要の高まり

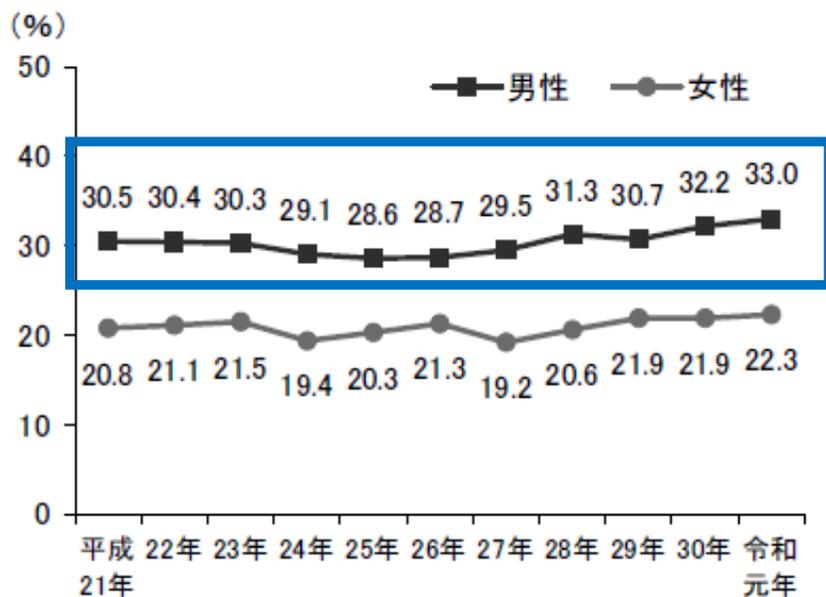
【背景として考えられること】

- 単独世帯や共働き世帯の増加
- 新型コロナウイルス感染症の流行を機に、
外食を控え、家で食事をする機会が増加

取組の背景となる全国的な健康課題

- 全国的に**男性の肥満者の割合は女性に比べて多く3割程度**

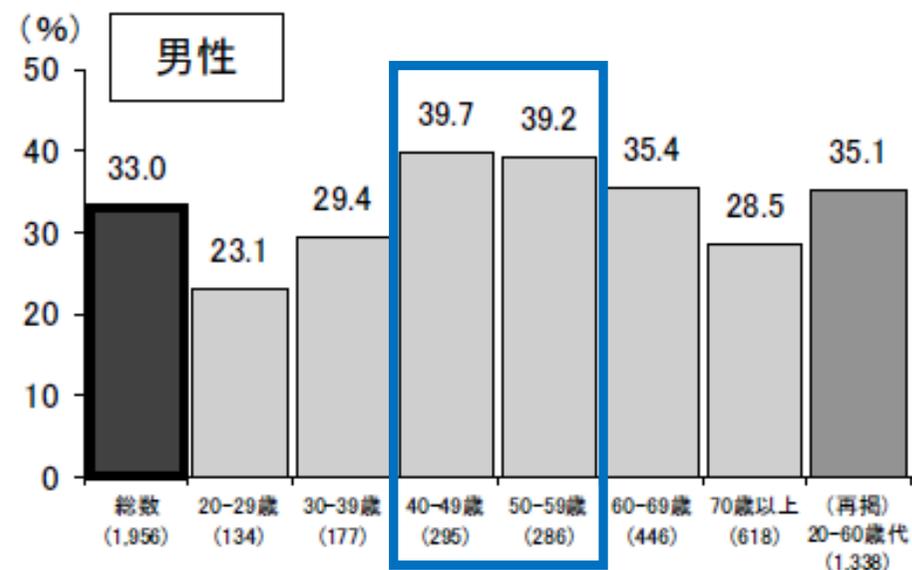
図 18-1 肥満者(BMI \geq 25 kg/m²)の割合の年次推移(20歳以上)(平成21~令和元年)



出典：令和元年度国民健康・栄養調査 結果概要

- 男性では**40歳代~50歳代が特に多い**

図 19 肥満者(BMI \geq 25 kg/m²)の割合



出典：令和元年度国民健康・栄養調査 結果概要

誰もが栄養バランスのよい食事をするためには



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

市民の皆様の 意識醸成

- ✓ 栄養バランスの重要性が分かる
- ✓ 栄養バランスのよい食事とはどのような食事かが分かる

- ・ 市民の皆様への
情報発信、啓発活動

引き続き実施



健康への関心にかかわらず

お店で選べる 環境づくり

- ✓ 栄養バランスのよい食事が提供されている
- ✓ 選べる仕組みがある

- ・ 市内スーパーや
コンビニエンスストア等と
行政の共創
- ・ 商品開発や仕組みづくり

今後力を入れる

相鉄ローゼン株式会社との連携協定



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

■ 目的

誰もが自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を通じて、市民の健康的な生活の実現を図ること

■ 連携内容

①「健康横浜21」に基づく事業や、健康づくり、食育の普及啓発に関する事項

②横浜市が推進する、誰もが自然に健康になれる食環境づくりに関する事項

具体的な取組



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

お互いが持つノウハウや専門知識を連携させ、共同開発のお弁当を販売



- ・市民の健康課題の分析
- ・取組対象の明確化
- ・弁当基準の作成
- ・管理栄養士によるアドバイス



- ・商品開発
(弁当基準と顧客ニーズを
満たしたメニューの考案)



相鉄ローゼン(株)様との共同開発商品



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

■ 商品概要

- ・ 名称 ハマの元気ごはん弁当
- ・ 販売期間 令和5年7月1日（土）～7月末予定
- ・ 価格 646円（税込）
- ・ 販売店舗 そうてつローゼン 全51店舗（市内26店舗）



相鉄ローゼン(株)様との共同開発商品



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

■ コンセプト「健康」と「ボリューム」の両立

① ターゲット

ボリュームのある食事を好む30～50歳代の男性

② 特徴

- ・ 栄養バランスのよい組み合わせ（主食・主菜・副菜が揃う）

- ・ 適切なエネルギーで満足感がある

1/3日分のエネルギー量：ご飯、チキンカツ、
鶏のからあげなど

- ・ 野菜がたっぷり

1/3日分の野菜量：煮物、野菜ステーキ、きんぴら、
おひたしなど

参考：「ハマの元気ごはん弁当」と横浜市基準等との比較



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

		横浜市基準(※1)	そうてつローゼン 「ハマの元気ごはん弁当」	参考例 一般的な「かつ丼」(※2)
エネルギー		650~850kcal	714kcal	922kcal
主食	ご飯	150~200g	200g	260g
主菜	魚、肉、卵、大豆製品	入れることは必須、 重量基準は無し	チキンカツ、鶏のからあげ、 ちくわ天	豚かつ、卵
副菜	野菜、きのこ、海藻、 いも	140g以上	171g	20g
食塩相当量		3.5g未満	2.8g	3.8g
脂質エネルギー比		20~30%	26%	30.11%

(※1) 栄養バランスのよい食事となる一食あたりの栄養価の基準 (横浜市食環境整備検討会で作成)

(※2) 出典：令和4年度 国民健康・栄養調査の食品番号表 資料

相鉄ローゼン株式会社について



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

- 創 業：1962年8月10日
- 店舗数：51店舗（うち横浜市内26店舗）
（2023年6月21日現在）



当社は、神奈川県内を中心に展開する地域密着型の食品スーパーマーケットチェーンです。地域の皆様の豊かな食生活を応援することを使命とし、「また行きたくなるスーパーマーケット」を目指した店づくりに取り組んでいます。

昨今の中食需要や健康志向の高まりをうけ、お客様のニーズに応えられる豊富な品揃えや、こだわった原料や製法でつくる惣菜・ベーカリーの強化を図るなか、横浜市における市民の健康課題解決への取り組みの主旨に賛同し、協定を締結することにいたしました。

開発秘話



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

「健康」と「ボリューム」相反するテーマに苦勞し、
50以上の試作を経て辿り着いた、私が“今一番食べたいお弁当”できました。



《開発者》
相鉄ローゼン
横塚チーフバイヤー

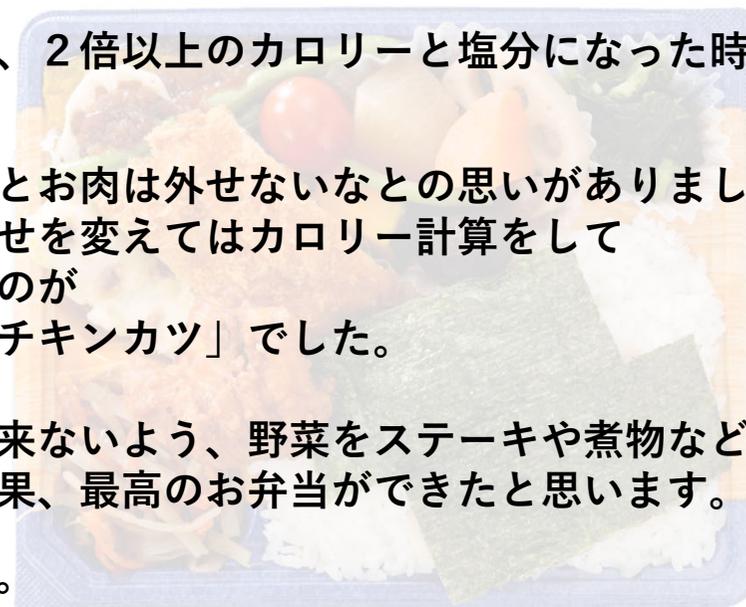
最初は相当頭を悩ませました。

自分の好きなものを組み合わせると、2倍以上のカロリーと塩分になった時は本当にできるのかと（笑）

でも働き盛りの男性が食べるとなるとお肉は外せないなどの思いがありました。ロース、メンチ、ヒレなど組み合わせを変えてはカロリー計算をして顔を曇らせながら最後に辿り着いたのがフレッシュな鶏むね肉を使用した「チキンカツ」でした。

こちらをメインに据えつつ、飽きがないよう、野菜をステーキや煮物などにしてボリュームと味を両立させた結果、最高のお弁当ができたと思います。

是非一度お手に取ってみてください。



横浜市が目指す食環境づくり



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

■ 目指す姿

誰もが栄養バランスのよい食事を選択できる環境

着手

栄養バランスのとれた
弁当の販売

販売店舗が増える

栄養バランスのよい食事を
選択できる環境が整う



企業と連携し、横浜市基準を満たす**弁当の販売**



多くの企業で横浜市基準を満たす弁当を販売



市民の**食生活が健康的になる**

産学官連携で、今回の取組を検証



検証結果を踏まえて、多くの企業で展開できる仕組みの構築



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

連携協定を通じて、
誰もが自然に栄養バランスのよい食事ができる
食環境を創っていきます。



×

